白鷗大学足利高等学校　校長室通信　第17号

パイプライン

白鷗大学足利高等学校
HAKUOH UNIVERSITY ASHIKAGA SENIOR HIGH SCHOOL
発行日：令和４年８月８日（月）　発行者：校長　大橋芳樹

＜「世界三大○○」シリーズ①　「世界三大珍味」＞

生徒の皆さんもよくご存じのとおり、「世界三大珍味」というのは、「キャビア」、「トリュフ」、「フォアグラ」のことです。どれも一応は食べたことがありますが、味がはっきり分かるほど食べたわけではありませんので、残念ながら味を思い出すことができません。どれもテレビ朝日の「芸能人格付けチェック！」などではおなじみの食材ですが、目玉が飛び出るほど高額なのは間違いありません。

【キャビア】チョウザメの卵巣をほぐしたものの塩漬け。オードブルなどで供される高級食材。おもな産地はロシアで、特にカスピ海とアムール川が有名。チョウザメには、ベルーガ(オオチョウザメ)、カルーガ(ダウリアチョウザメ)、オシェトラ(ロシアチョウザメとシップチョウザメ)、セヴルーガ(ホシチョウザメ)などの種類がいる。種類によって卵の粒の大きさとブランド価値が異なる。

【トリュフ】主にセイヨウショウロ科セイヨウショウロ属に属するキノコの子実体。かさ・ひだ・柄を欠き、ゆがんだ塊状。成熟に伴い、特有の芳香を発する。トリュフは外菌根なので、通常は木の根に密着して生息している。トリュフは大まかには黒トリュフと白トリュフに分けられる。白トリュフは黒トリュフよりも香りが高い。トリュフを探すのに雌豚や訓練したトリュフ犬を用いる。

【フォアグラ】ガチョウやアヒルなどに、蒸したトウモロコシを漏斗でいに詰め込む”ガヴァージュ”と呼ばれる強制給仕を一日に３回行い、肝臓を脂肪肝にすることで得る。濃厚な味であり、ぬランス料理の高級食材の一つ。現在では動物愛護や動物の権利論の高まりなどから、イタリア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、ポーランドなどでは強制給仕が禁止されている。

＜数にまつわる話③　「婚約数」＞

「異なる２つの自然数の組で、１と自分自身を除いた約数の和が、互いに他方と等しくなるような数」のことを「婚約数”betrothed numbers”」といいます。
婚約数の組を小さい順に列記してみると、(48，75)，(140，195)，(1050，1925)，(1575，1648)，(2024，2295)，(5775，6128)，(8892，16587)，(9504，20735)，(62744，75495)，(186615，206504)，…となります。
最小の婚約数の組(48，75)と２番目に小さい婚約数の組(140，195)について検証してみましょう。まず、最小の婚約数の組(48，75)の検証です。48 の約数は、1，2，3，4，6，8，12，16，24，48 で、１と自分自身を除いた約数の和は 75 となります。 一方、75 の約数は。1，3、5、15、25、75 で、１と自分自身を除いた約数の和は、48 となります。したがって、48 と 75 は一組の婚約数ということになります。次に、２番目に小さい婚約数の組(140，195)の検証です。140 の約数は、1，2，4，5，7，10，14，20，28，35，70，140 で、１と自分自身を除いた約数の和は 195 となります。 一方、195 の約数は。1，3、5、13，15、39、65，195 で、１と自分自身を除いた約数の和は、140 となります。したがって、140 と195 は一組の婚約数ということになります。上に示した(48，75)，(140，195)以外の婚約数についても検証してみましょう。
現在までに知られている婚約数の組はすべて偶数と奇数の組であり、偶数同士または奇数同士の婚約数の組は存在するのか、婚約数の組は無数に存在するのか、などは数学上の未解決問題となっています。

埼玉県こども動物自然公園では、合格祈願の「落ちない動物四天王お守り」が販売されています。落ちない動物四天王とは、埼玉県こども動物自然公園で飼育されているコアラ、レッサーパンダ、フタユビナマケモノ、カナダヤマアラシのことです。この４種類の動物は樹上生活に適応していて、めったなことでは木から落ちることはありません。

コアラ

レッサーパンダ

フタユビナマケモノ

カナダヤマアラシ

建学の精神	プルス　ウルトラ PLUS ULTRA	さらに向こうへ	HAKUOH SPIRIT	'Challenging Spirit'と'Pioneer Spirit'を持って世界を舞台に自己の人生を切り開いていく人間を育成する。

教育目標	学園の恒久的発展を基調とし、教育基本法の精神を汲み、民主主義を理解し、もって個性の伸長発展を図り、よき社会の形成者を育成する。 ○自立精神の涵養　○責任と義務の会得　○豊かな良識と個性の伸長	卒業までに生徒に身につけさせたい「８つの力」	１分析力	２思考力	３発信力
			４想像力	５創造力	６行動力
			７傾聴力	８自己肯定力	

白鷗足利の誓い	はっきり、くっきり、大きく美しい足跡を印そう！ 科学の学園「白鷗足利」で！	毎月８日と９日は「白鷗足利の日」 Hustle & Creative

＜８月生まれの偉人・著名人の名言　タモリ(1945.8.22～　76歳：福岡県出身　お笑いタレント・漫談家・司会者＞

＊真剣にやれよ！仕事じゃねぇんだぞ！
＊コツはね、張り切らないこと。
＊好きな言葉は『適当』。
＊健康のためなら死ねる。
＊俺のやることに意味なんかあるわけないだろ！
＊やる気のあるやつは去れ。
＊人見知りじゃない奴は面白くない。
＊日常で一番重要なことを伝えるには低いトーンで小さな声でしゃべる方が伝わる。そうすると相手の注意力が増してくる。大きな声を出せば面白いと思うのは勘違いだ。
＊まあ、私も結構活躍してるみたいなんですけども、宇宙から見たらどうでもいいですね。
＊大企業が考える都市計画っていうのはどこも同じで、歩きたいような街というよりも、泣きたくなるような街だよね。
＊ストレスはね発散することはできません。溜まる一方だからストレスを忘れるしかない。
＊たくさん喋るんだけど、終わってみると何も心に残らない人っているよね。
＊人間って『自分がいかにくだらない人間か』ということを思い知ることで、スーッと楽にもなれるんじゃないかな。
＊他人に期待などしなければ、つまらないことで感情的にならずにすむ。そうすれば人間関係に波風も立たなくなり、円満にだれとでも付き合える。
＊初対面の人と上手く話す秘訣なんて無いんです。心構えとしては、初対面と思わないことじゃないですかねえ。この人はよく知っているんだ、仲良しだと思うことです。
＊前を向いて歩いてたって、つまんないよ。後ろを振り返ったほうが『あれが楽しかった』って楽しいよ。